

# 令和5年度 第4回大野市国民健康保険運営協議会 会議録概要

と き：令和6年2月8日（木）午後7時00分～8時30分  
ところ：結とびあ 302号室

## 1. 開会

## 2. 会長あいさつ

## 3. 会議録署名委員の選任

## 4. 議題

### (1) 「令和6年度大野市国民健康保険事業特別会計予算（案）の状況について」（資料No.1、2）

#### 【事務局説明】

#### 【質疑応答】

委員 歳入予算の割合は福井県も大野市と同じような形か。

事務局 国民健康保険事業特別会計の主な目的は、医療給付を行うことである。平成30年度から県単位化され、給付に対する費用は、県から交付金を受けることとなっている。県に事業費納付金として納める部分については、国民健康保険税を充てる。

令和6年度の予算は、1,000万円を基金から取り崩して、財源補てん分を充てることとしている。繰入金に多い少ないということはあるが、どこの保険者も同じような形になっていると考える。

委員 団塊の世代が後期高齢者に移行し、被保険者が減少する傾向は続くのか。

事務局 現在大野市の人口で一番多い層は70歳から74歳である。福井県の傾向は同様であり、65歳から74歳の前期高齢者が全国に比べて比率が高いと聞いている。大野市では、団塊の世代が国民健康保険から後期高齢者医療制度へ移る傾向は、令和9年度頃まで続く見込みである。

－全員一致で、原案承認－

### (2) 「第3期大野市国民健康保険保健事業実施計画（データヘルス計画）（案）について」（資料No.3）

#### 【事務局説明】

#### 【質疑応答】

委員 大野市の標準化死亡比について、脳梗塞は福井県と比較しても全国と比較しても高くなっているが、実際の死因は脳梗塞ではなく、誤嚥性肺炎や悪性疾患を合併しての死亡ではないか。

事務局 必ずしも直接死因ではないということである。

国保連合会から提供を受けた統計資料から、大野市の国保被保険者の特徴的な部分を抜き出している。

委員 介護状態の悪化度が県より低いというのは納得するが、改善度について、県より低い年度があるというのは、高い年度もあるのか。介護度が固定している人が多いということか。

事務局 大野の方は比較的元気なうちは働き、介護サービスを利用したくなったときに介護認定を受ける方が多いため、悪化もしないが改善も難しい。

委員 介護予防は大きな意味を持つ。

事務局 今後、高齢者の保健事業と介護予防の一体化に国民健康保険も取り組んでいく予定である。

委員 特定健診、特定保健指導の受診率、実施率を積極的に上げていく方法をみんなで考えていかないといけない。

－全員一致で、原案承認－

### (3) 「大野市国民健康保険事業運営方針（案）について」（資料No.4）

#### 【事務局説明】

#### 【質疑応答】

委員 医療費の総額と1人当たり医療費について、令和2年度が落ちているのはコロナの関係か。

事務局 新型コロナウイルス感染症により受診控えがあったためである。全国的に同じ傾向がみられる。

委員 保険税の収納率96%は、悪質な滞納者がいるからか。

事務局 生活に困り納められないという方がいる一方、悪質な滞納者もいる。所得が低い方に対しては、所得に応じた軽減制度があり、税額が抑えられる仕組みである。

－全員一致で、原案承認－

### (4) 「国民健康保険制度の改正について」（資料No.5）

#### 【事務局説明】

#### 【質疑応答】

委員 実質賃金が目減りしている時代に、保険税を引き上げするのは厳しいという印象を持つ。

事務局 所得が低ければ、税率を上げても、国保税としてはそこまで徴収ができない。応益分

については、所得に応じた軽減制度があり、来年度軽減判定基準が少しずつ上がり、低所得者の方にも手厚くなるよう国も改正を予定している。

－全員一致で、原案承認－

(5) その他 (資料No.6)

令和6年度大野市後発医薬品(ジェネリック医薬品)使用促進計画(案)及びおおのヘルスウォーキングプログラムについて

【事務局説明】

【質疑応答】

委員 おおのヘルスウォーキングプログラムの抑制効果が目に見える結果で出てきたことは、非常に説明しやすくわかりやすい。

委員 非常にいい結果だと思うが、健康な人は運動できるが、膝が痛い人などはそもそも運動ができないので、差がでてくるのではないか。

事務局 健康な方を増やすために、元気な方には、ますます元気でいていただくためにこの取り組みをしていきたい。

委員 このプログラムは、どのぐらいの運動量が必要なのか。

事務局 ウォーキングを勧めるきっかけであるので、自分のペースで歩いてもらうだけである。参加者が普段の歩数よりも少し増えればいいということを目指している。

委員 ウォーキングをするなら、年寄りの場合は栄養もしっかり取るように指導しないといけない。

事務局 プログラム開始の説明会では、ウォーキングだけでなく、筋トレとタンパク質を摂ることが重要であることを伝えている。

－その他の意見なし－

【今後の日程について事務局から説明】

－副会長 閉会のあいさつ－